

# Glocal Tenri

月刊 グローカル天理 Monthly Bulletin Vol.26 No.10 October 2025

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University



10

## CONTENTS

- 巻頭言  
創世神話と原初の水  
／井上 昭洋 ..... 1
- 文脈で読む「身上さとし」(21)  
明治 22 年 10 月  
／深谷 耕治 ..... 2
- 天理参考館から (39)  
万国博覧会とは その 2  
／幡鎌 真理 ..... 3
- 天理図書館外史 (新連載)  
天理図書館の古典籍と文化財  
／三濱 靖和 ..... 4
- 音のちから—中国古代の人と音楽 (28)  
文物が語る音の世界—箜篌—  
／中 純子 ..... 5
- ブラジルの宗教的風景 (8)  
アンテペラム期の米国系プロテスタン  
ト教会による布教活動②  
／中西 光一 ..... 6
- 2025 年度公開教学講座：「元の理」の  
学術的研究とその新しい展開を求めて  
(4)  
第 4 講：「元の理」と布教伝道  
／尾上 貴行 ..... 7
- おやさと研究所ニュース ..... 8  
連載執筆のねらいと執筆者紹介／  
2025 年度公開教学講座のご案内

## 巻頭言

### 創世神話と原初の水

おやさと研究所長 井上昭洋 Akihiro Inoue

創世神話は、世界、人間、そして文化の根源について語る物語であり、その内容に応じていくつかのタイプに分類できる。最も広く見られる類型は、無や混沌といった原初的な状態から、創造神が秩序ある世界を創造するというものである。この創造神による創造型の代表例として、旧約聖書の『創世記』が挙げられる。そこでは、神がまず光と闇を分け、天と地を創造し、次に動植物、そして最後に人間を造るという、段階的な創造の物語が描かれている。

一方、原初的な存在や要素から世界が生まれたとする神話も存在する。この系統には、宇宙卵型、原初巨人型、潜水型などが含まれる。例えば、中国の盤古神話などの宇宙卵型では、巨大な卵から宇宙が生まれたり、卵が割れて天と地に分かれ、そこから生命が誕生したりする。また、原初巨人型の北欧のユミル神話では、神々に殺された巨人ユミルの遺体から世界が形成されたとされ、その血は海に、肉は大地に、骨は山になったと語られる。潜水型の神話では、動物たちが原初の海に潜って海底から泥を持ち帰り、陸地を作りだしたとされる。北アメリカの先住民の神話が代表的で、部族によって亀やビーバー、マスカラットなど、異なる動物が活躍し、大地が亀の甲羅の上にあると語られることも多い。

さらに、創造神による創造型の神話にもバリエーションがある。唯一神が世界を創造する『創世記』のような神話もあれば、男女の神が協力する両親型の神話も存在する。両親型の神話では、男性神と女性神が交わることで世界や人間が誕生したとされる。ギリシャ神話の大地を司る女神ガイアと天空を司る男神ウラノス、日本神話のイザナギとイザナミ、ハワイ神話の大地の女神ハパと天空の男神ワーケアなどが、このタイプに属する。ただし、ギリシャ神話のガイアとウラノスは母子でありながら夫婦でもある点が特徴的である。また、両親型では男性神が天空を司

り、女性神が大地を司ることがほとんどであるが、イザナギとイザナミにはそのような性格は付与されていない。

もちろん、ここで紹介した類型に当てはまらない創世神話も存在するだろう。また、複数の類型の特徴を備えた神話も珍しくない。宇宙卵型の神話として紹介した中国の盤古神話は、原初巨人型の神話でもある。この神話では、巨大な卵の中に巨人盤古が誕生し、盤古が卵の殻を破ることで天と地が誕生するが、天と地が再び一体にならないように地を踏みしめて天を押し上げ続けた結果、盤古は死んでしまい、身体の一部が太陽や月、山や川になったと伝えられる。

ところで、多くの創世神話に共通して見られるのが、「原初の水」というモチーフである。この水はおそらく透明ではない濁った水であり、原初の未分化で混沌とした状態の隠喩と考えられる。原初の水が直接的に関係するのは、海底の泥から動物たちが陸地を創造する潜水型の神話である。一方、卵も未分化の液体を内部に抱えていると考えれば、混沌や未分化の隠喩としての原初の水と関連づけられる。また、原初巨人型も、巨人の汗や血といった体液から海や川が誕生することを考えると、水分と無縁ではない。両親型のイザナギとイザナミの国産みの神話やハパとワーケアの島造りの神話も、原初の海に陸地を作り出すという点で、潜水型同様、原初の水が重要な舞台となる。

創世神話に共通する「原初の水」というモチーフは、混沌から秩序への変化という普遍的テーマの土台となっている。潜水型では水底からの陸地創造、宇宙卵型では卵内の液体からの生命誕生、原初巨人型では体液からの自然界の形成、両親型では原初の海での陸地創造と、それぞれ異なる形で水が秩序化の起点となっている。混沌の象徴であるこの濁った水こそが、あらゆる生命と秩序の源泉でもある。